

埼玉民主フォーラム FORUM

2022.4
春号



埼玉民主フォーラム 検索

【発行元】埼玉民主フォーラム 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-833-1710 FAX:048-833-1722

●医師・看護師確保の推進について

令和4年2月定例会において、地域保健医療計画の見直しを審議しました。新型コロナウイルス感染症などのパンデミックの発生や、今後の医療・介護需要の大幅な増加に対応していくため、「医療施設の医師数」「後期研修医の採用数」「就業看護職員数」を新たに指標として設定し、進捗管理の「見える化」が図られていました。併せて、コロナ対策を計画に追加し、感染症の専門人材を新たに育成していくこととしています。

同じく定例会で議論した令和4年度当初予算には、医師及び看護職員の確保に取り組む事業が計上されています。医師については、奨学金や研修資金の貸与制度を柱に確保が進められており、令和4年度は地域枠(医学部卒業後に特定の地域等で勤務することを条件とした入学選抜枠)を現行の3大学30人から4大学33人に拡大しています。看護職員の確保に向けては、養成、復職支援、離職防止・職場定着の促進とライフステージに応じた施策を展開し、特に潜在看護師の復職支援に積極的に取り組む予算となっています。

埼玉県立大学で看護職員等の育成を図るとともに、医学部を持つ大学の誘致に引き続き全力で取り組んでいく方針です。



●障害のある生徒の県立高校入試の際の配慮、一歩前進

障害のある生徒が県立高校を受検する際に、点字の問題用紙にしたリルビを振ったり文字を大きくするなど、入試上の配慮を求めるための「措置願」を志願先の高校に出すことができます。そして配慮が必要な場合は教育委員会との協議にかけられます。

しかし埼玉県では提出された措置願の9割が教育委員会にかけられず、志願先の校長裁量となる「校長判断」扱いになっていました。それによってどのような配慮がなされたのかなされなかったのか、教育委員会は実態を把握していませんでした。

予算特別委員会の民主フォーラムの質疑において、教育委員会としてすべての措置願を教育委員会が協議することを求めたところ、教育長からは、提出された措置願のすべてを教育委員会が把握をするように今年2月の入試から改善したことが答弁されました。

●一般質問

←一問一答式→

高木 真理議員(さいたま市 北区)



1 デジタル基本時代の発想のパラダイムチェンジについて

- (1) 取組におけるベースの考え方について(知事)
- (2) 「とねっと」の全県展開について(保健医療部長)
- (3) 公立学校におけるデジタル化について(教育長)
- (4) 警察に関する諸手続について(警察本部長)

2 新型コロナウイルス感染症の後遺症を抱えて生きる方々への支援について(知事)

3 コロナ禍における医療的ケア児を持つ家族への支援について(福祉部長)

4 誰にでも起こり得るひきこもりについて考える(保健医療部長)

5 大宮スーパー・ボールパーク構想について(知事)

6 「空気の安全」への配慮について～公的機関の職員に求められるもの～(総務部長)

ひきこもり支援の拡充を

Q [高木]: 「ひきこもり」はいつ誰がなっても不思議ではない。県は地域サポートセンターなど支援態勢を作りつつあるが、まだ進化が必要で、社会資源や相談先など色々な連携が必要となる。身近なところで解決できるよう、市町村にもワンストップの相談窓口を作るよう働きかけられないか。また、家族会の持つノウハウを市町村での相談にも生かせるようにできないか。本人の意思の尊重が一番だが、必要に応じて精神疾患のケアへのつながりを模索できないか。

A [保健医療部長]: 今年度の調査で49の市町村で相談窓口を設置しているが、市町村からはひきこもり支援のノウハウの不足を課題とする意見もあり、県では市町村相談従事職員対象の研修会を開催した。市町村が実施するひきこもり相談では、多様な課題を解決するために、家族会をはじめ様々な関係機関との連携強化が必要である。精神疾患のケアについては、本人の意思尊重の上で、精神保健相談を適切に実施していく。

【2月定例県議会閉会】

約2兆2284億円の一般会計予算案可決。



●今定例会まとめ

2月定例県議会は、2月17日に開会し、3月25日に閉会しました。この2月議会では、令和4年度の予算審議がメインとなり、当初予算としては2年連続で2兆円を超え、過去最大を更新しました。新型コロナ対応やDX(デジタルトランスフォーメーション)に注力した予算となっています。今議会では、コロナ禍での議会ということで、オンラインを使った委員会も開催されました。また、議員提出議案として「引きこもり支援に関する条例」や「ウクライナへの侵攻に対する抗議決議」を可決しました。会派で提出した要望書(写真)

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党・埼玉県市民ネットワーク・無所属議員から構成される会派です。

上段: 会派役員
下段: 所属常任委員会



代表
警察危機管理防災委員会
田並 ひさあき



幹事長
県土都市整備委員会
木村 勇夫



副代表・財務会長
福祉保健医療委員会
山本 正乃



政調会長
総務県民生活委員会
高木 まり



総務会長
産業労働企業委員会
水村 あつひろ



広報局長
環境農林委員会
山根 ふみ子



政調会副会長・広報局副局長
文教委員会
辻 浩司



団体局副局長・総務会副会長
福祉保健医療委員会
町田 皇介



団体局局長・財務副会長
企画財政委員会
白根 大輔



●代表質問(6月)

<一問一答式>

田並 ひさあき議員(熊谷市)



1 令和4年度埼玉県一般会計当初予算案について(知事)

- (1) 感染対策と地域経済の活性化の両立について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策推進基金について
- (3) 財源調整の基金確保について

2 DXの推進について(知事)

- (1) 職員の意識改革、能力強化に向けた取組について
- (2) 推進体制の強化について
- (3) DXを推進するに当たっての基盤整備について
- (4) 県による市町村支援について

3 新型コロナウイルス感染症対策について(知事)

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立について
- (2) パンデミック下の検査キットの確保体制について

4 県内の事業者支援について(知事)

5 コロナ禍がもたらす子どもの育ちへの影響について

- (1) 子どもの体力低下について(教育長)
- (2) 学習環境への影響について(教育長)
- (3) 子どもの貧困について(知事)

6 命を守るための孤独・孤立対策について(知事)

7 農業分野での脱炭素に向けた取組について(知事)

8 部落差別解消推進条例について(知事)

感染対策と地域経済の活性化の両立について

●質問

令和4年度当初予算においては、一般会計で約2兆2,300億円という過去最高額の予算案となっている。長引くコロナ対策を踏まえ、感染対策と、地域経済の活性化との両立を見据えて予算を編成したと思うが、足元ではオミクロン株による感染急拡大に対応せざるを得ない状況となっており、今後もこうした突発的な感染対策を行わざるを得ない状況が十分に想定されると思う。

令和4年度当初予算における歳入予算を見ると、県税収入は対前年度467億円増を見込んでいるが、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税は対前年度1,025億円減となっており、財政調整のための基金を対前年度213億円増の730億円を取り崩すことでなんとか収支を合わせている。

新型コロナウイルス感染症への対策とウィズコロナの下での地域経済の活性化、この二つの両立を見据えた上で、どのように収支バランスに配慮しながら予算編成されたのか伺う。

知事

令和4年度当初予算では、「直面する危機からの脱却」を基本的な方針の一つとした。感染症の拡大防止はもとより、社会全体のDXの推進により地域経済の回復や成長を実現すること、この両立を強く意識した上で予算編成を行った。

●知事に緊急要望書を次々と提出

民主フォーラムは、大野知事と強力に連携する会派として、議会質問以外でも随時、政策要望書を提出し、県民の声を届けています。今年に入ってから2件の要望書を提出しました。

1月には新型コロナ緊急要望書を提出。PCR検査キットの確保や経口薬の確保、負担の声が聞かれるワクチン検査パッケージについての事業者への情報提供などを要望しました。

薬局のPCR等検査事業者の委託料支払い方法の改善も要望し、さっそく実現しました。

コロナ入院による一般医療への圧迫の防止については、維持すべき医療機能の基準の確立を要望したところ、さっそく知事が県として国に要望をしました。

2月には燃油価格高騰に苦しむ事業者への支援を求める要望書を提出し、県として国に要望するきっかけとなりました。

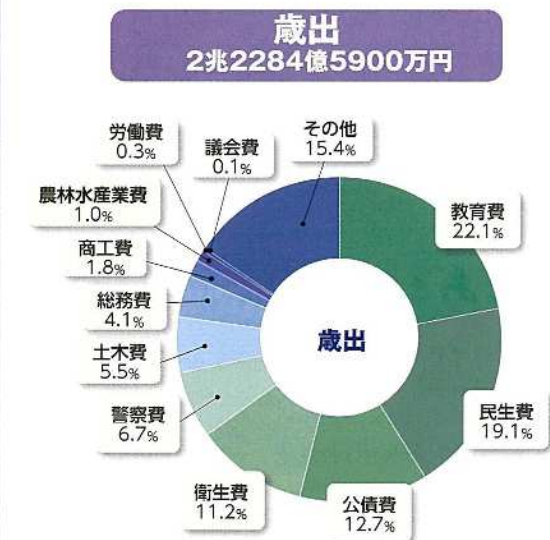


新年度予算

「2月定例会が開催されました」

2月17日～3月25日に開催された2月定例会では、令和4年度一般会計予算や令和3年度一般会計補正予算など全102議案について、可決・同意をいたしました。

大野県政3年目の新年度予算は、「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」に最優先に取り組むこととし、限りある財源を重点的に配分して編成されました。埼玉民主フォーラムは大野知事と連携し、県民目線による政策実現を目指してまいります。



●浦和競馬組合議会について

浦和競馬は、埼玉県とさいたま市の地方公共団体で構成する一部事務組合、埼玉県浦和競馬組合によって運営される地方競馬です。(経費負担・利益配分割合は、埼玉県10/13、さいたま市3/13)

予算案等、「浦和競馬組合議会」の審議を経て執行されます。会派から山根議員が浦和競馬組合議員に選任されています。コロナ禍での運営ということで浦和競馬場にお越しになられる方は減少傾向にあったもののインターネット販売の売り上げが好調で、令和3年度浦和競馬の総売得金・1日平均売得金のレコードを6年連続で更新しました。

競馬事業の役割

- 国及び地方公共団体の財政に寄与すること
- 畜産の振興に寄与すること
- 国民に健全なレジャーを提供すること

組合議会の組織: 組合議会の議員の定数 8人(埼玉県議会選出5人、さいたま市議会選出3人)

執行機関の組織: 管理者1人(埼玉県知事)、副管理者2人(非常勤1人(さいたま市長)、常勤1人※事務局長兼務、会計管理者 1人(さいたま市会計管理者併任)、事務局65人、常勤35人(固有23人、県派遣11人、市派遣1人)、会計年度任用職員(一般事務)30人



埼玉民主フォーラム FORUM

2022.8
夏号



埼玉民主フォーラム 検索

【発行元】 埼玉民主フォーラム 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-833-1710 FAX:048-833-1722

会派の要望・提言が実現しました!

埼玉民主フォーラムでは、各議員が地域でいただいた様々なお声や毎年各種団体と実施している意見交換などを踏まえ、議会における会派代表質問や一般質問、各委員会での質疑などを通して、執行部に対し、新たな施策の提案や制度の改善などを求めています。また、県民にとって緊急性のあるものについては、必要に応じ、その都度、大野知事と直接対話し、会派としての要望・提言も行っているところです。

これら活動により今回の6月補正予算では、会派の要望・提言が予算に反映されました。

6月補正予算

■ 貸切バス・旅行事業者への支援… **2億9,306万5千円**

貸切バス事業者に対する経営支援

- ▶ 補助対象: 貸切バス 1,800台
- ▶ 補助額: 15万円/台



旅行事業者のバスツアー造成に対する補助

- ▶ 補助額: 日帰り 5万円/旅行商品
- 宿泊(県内) 10万円/旅行商品
- 宿泊(県外) 5万円/旅行商品

■ 県内施設園芸農家の省エネ転換への支援… **4億3,001万円**

省エネ機器等の導入支援

施設園芸農家に対して、燃料費高騰の影響を受けにくい省エネ機器等の導入経費の1/2を補助する。

- ▶ 補助対象: ヒートポンプ、被覆資材等、品種・品目転換のための種苗購入費



■ 農業用生産施設降ひょう被害対策事業… **5億8,026万円**

■ 農作物災害緊急対策事業… **2億8,792万円**

【会派要望】

貸切バス事業者への支援 (R3.10知事要望)
燃油価格高騰による施設園芸事業等への支援 (R4.2知事要望)
ひょう被害を受けた県内農家への補償 (R4.6知事要望)

【議員提出議案】

● 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例

6月定例会において「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」が賛成多数で可決されました。県民の皆様は差別の実態を知ってもらうとともに、埼玉県から部落差別が無くなるその一助になれば、と期待するところであります。



● 性の多様性を尊重した社会づくり条例

今定例会において、我が会派としても約8年に及び取り組んできた性の多様性、いわゆる、LGBTQに関する条例案が議員提出議案として上程され賛成多数で可決承認されました。この条例案は、基本理念を定めたものです。これにより、全ての人の人権が尊重される社会の実現を目指すものです。

【会派要望】

● 雹被害を受けた農家への速やかな支援を知事へ要望し、予算化へ

6月2、3日に県内各地で突然降った雹は、県内農産物に大きな被害をもたらしました。

その被害額は過去最大級の38億円を超える見込みです。

この事態に対し、民主フォーラムでは知事に対し、農家への早期補償や被害証明手続きの簡素化などを求める要望書を提出しました。

その結果、知事からは6月定例会の追加議案として、生育回復に必要な肥料代や農業施設の復旧費用への補助、資金融資枠の拡大や無利子化などの補正予算が提案され、可決しました。



●一般質問

水村 あつひろ
(西第1区 所沢市)



＜一括質問・一括答弁式＞

- 1 知事の政治姿勢～物価高対策について～(知事)
- 2 今後の新型コロナウイルス感染症対策について(知事、保健医療部長)
- 3 所沢市の保健所設置を後押しするために(保健医療部長)
- 4 子供たちの未来のために(福祉部長)
 - (1)子ども食堂の今後について
 - (2)こども宅食について
- 5 格差・貧困社会の是正のための生活困窮者自立支援制度について(福祉部長)
- 6 防災意識を高めていただくための視点(伝承・正常性バイアス・フェーズフリー)について(危機管理防災部長)
- 7 カスタマーハラスメント(悪質フレーム)対策の推進について(産業労働部長、県民生活部長)
- 8 公園の魅力づくりについて(都市整備部長)
 - (1)インクルーシブ公園の今後について
 - (2)Park-PFI(公募設置管理制度)の導入について

【物価高対策について(抜粋)

水村:ガソリンや食料品の値段が上がリ、財布を直撃している。原材料費の高騰という、やむを得ない価格転嫁を県内企業が行えるような環境づくりが必要だ。何故ならば、企業努力で価格を据え置こうとすれば、人件費を抑えるようになり、将来不安が加速する。物価が上昇するときには、賃上げもしないと景気回復には繋がらない。賃金が上昇するような取り組みが必要と考えるが、知事の見解は?

大野知事:賃金の上昇を図っていく為には、県内企業が生産性を高めていく事が不可欠だ。引き続きオール埼玉で効果的な施策を推進し、適切な価格転嫁を進めるとともに、県内中小企業の稼ぐ力を高め、ひいては賃金の向上に繋がっていくよう全力で取り組んでいく。

6月定例県議会が閉会しました

6月定例県議会は、6月17日に開会し、7月7日に閉会しました。今議会では、降ひょう被害支援や物価高対策を盛り込んだ一般会計補正予算など38議案を可決、承認、同意しました。その中にはLGBT条例や部落差別の解消を推進する条例案、また、北京パラスキーで金メダリストの村岡桃佳選手らに彩の国功労賞を送る人事議案も含まれています。

【一般会計補正予算(第1号及び第2号)】

一般会計

歳入歳出予算

27億4,975万1千円

(補正後累計 2兆2,312億 875万1千円)

債務負担行為

限度額 12億5,475万円

主要内容

※記載のないものは補正予算第2号

- 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援
5億495万6千円
うち低所得のひとり親世帯に対する生活支援特別給付金の支給(補正予算第1号)
2億7,926万1千円
- 原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援
9億6,932万9千円
- 脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進
11億3,056万6千円

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党・埼玉県市民ネットワーク・無所属議員から構成される会派です。

上段: 会派役職

下段: 所属常任委員会



代表

福祉保健医療委員会

田並 ひさあき



幹事長

環境農林委員会

木村 勇夫



副代表・財務局長・総務会長

文教委員会

山本 正乃



政調会長

警察危機管理防災委員会

水村 あつひろ



広報局長

産業労働企業委員会

山根 ふみ子



政調副会長・広報副局長

総務県民生活委員会

辻 浩司



団体副局長・総務副会長

県土都市整備委員会

町田 皇介



団体局長・財務副局長

企画財政委員会

白根 大輔

埼玉民主フォーラム FORUM

2023
2月号



埼玉民主フォーラム | 検索

【発行元】埼玉民主フォーラム 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-833-1710 FAX:048-833-1722

大野知事と連携し、 日本一暮らしやすい埼玉へ



県議会報告

定例議会において、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により厳しい状況に置かれている事業者・県民の皆様への更なる支援、脱炭素社会に向けた設備導入の追加支援などを盛り込んだ一般会計補正予算第5号、国の総合経済対策に対応し、妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない支援や子供の安心・安全を確保するための対策などを盛り込んだ一般会計補正予算第6号など、53議案を可決、認定、同意しました。その中には、手数料等の納付におけるキャッシュレス決済を推進するための埼玉県証紙条例を廃止する等の条例も含まれています。

【一般会計補正予算(第5号及び第6号)】

一般会計

歳入歳出予算

244億4,338万2千円

(補正後累計 2兆4,330億3,883万円)

補正予算の主な内容

【一般会計補正予算第5号】

○エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援

46億2,684万7千円

県内地域公共交通事業者に対する支援、県内医療機関等に対する支援、県内中小企業等の資金繰りへの支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減 など

○脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進

10億3,127万6千円

県内中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO2排出量の削減を加速させるため、空調設備、ボイラー等の更新及び太陽光発電設備、蓄電池等の導入経費を補助

第6号予算の主な内容は裏面へ➡

補正予算の主な内容

【一般会計補正予算第6号】

○妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援
【埼玉県産産・子育て応援事業費】

87億4,533万4千円

妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の拡充及び出産育児関連用品の購入費等への経済的支援を一体的に行う市町村に対し補助

○子供の安心・安全対策の強化

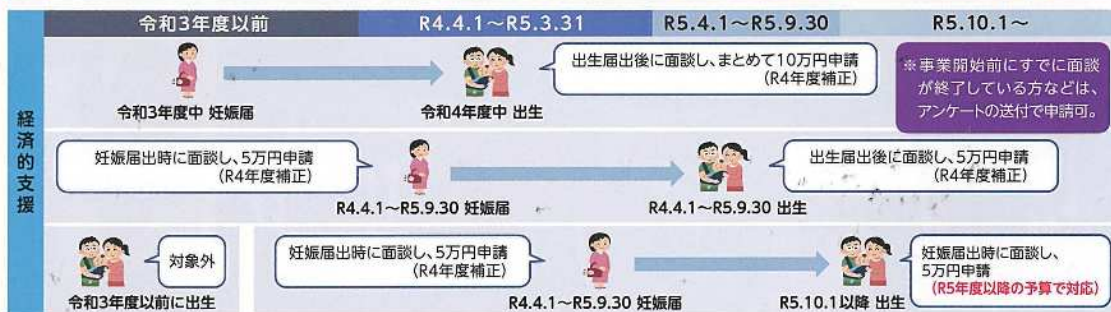
14億9,006万円

幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、障害児通所支援事業所等の設置者に対し、送迎用バスの安全装置や登園管理システム等の整備費用を補助

埼玉県産産・子育て応援事業費について

予算額 8,745,334千円
(一般財源 1,648,268千円)

市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や情報発信等を行うことで必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出時や出産届出を行った妊婦等に対し、出産・育児関連用品の購入費等の助成を図る経済的支援(計10万円相当)を一体として実施する事業を支援する。



【埼玉県証紙条例を廃止する等の条例】

証紙制度を廃止し、証紙の販売は令和5年12月末日まで、証紙の使用期限は令和6年3月末日までとなります。(未使用証紙の還付は条例施行後5年間、令和10年12月末日まで受け付け)。今後は、電子申請ができる申請では、電子収納でクレジットカード払いはまたはペイジーでの支払いを、また電子申請に対応していない申請や、電子申請ができない方の申請は、窓口でキャッシュレス決済を利用していただくことを検討しています。

キャッシュレス化



所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党・埼玉県市民ネットワーク・無所属議員から構成される会派です。

上段:会派役職
下段:所属常任委員会



熊谷市
代表
福祉保健医療委員会
たなみ ひさあき



さいたま市
南区
幹事長
環境農林委員会
きむら いさお



越谷市
副代表 財務局長 総務会長
文教委員会
やまもと まさの



所沢市
政調会長
警察危機管理防災委員会
みずむら あつひろ



川越市
広報局長
産業労働企業委員会
やまね ふみこ



越谷市
政調副会長・広報副局長
総務県民生活委員会
つじ こうじ



上尾市・伊奈町
団体副局長・総務副会長
県土都市整備委員会
まちだ こうすけ



川口市
団体局長・財務副局長
企画財政委員会
しろね だいすけ

埼玉民主フォーラム 県議会議員

木村イサオ

ACTIVITY REPORT

活動報告

南区版

2022年(令和4年)一般質問特集号

県議会レポート

編集・発行
埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部
〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

150年を迎えた埼玉県の今後について ～木村イサオの一般質問より～

おはようございます。毎日、通勤、通学お疲れ様です。彼岸も過ぎて、すっかりと涼しくなってきました。体調に気を付けて日々お過ごしください。本日は、木村イサオの議会活動の報告として、先日の一般質問の一部をお届け致します。

○150年を迎えた埼玉県の今後について

の発展が今後の埼玉県にとって逆にリスク要因とはならないのか？知事が進めるDXと今後の埼玉県の発展との兼ね合いをどう考えているのか？



Q 木村勇夫 議員(民主フォーラム)

先日、埼玉県は誕生150年を迎えた。明治4年の廃藩置県により入間県とともに埼玉県が設置されたのが始まりで、明治13年の人口は93万4,000人であったとされている。その後、人口は右肩上がり増加し、昭和52年500万人、昭和62年600万人、平成14年に700万人を突破し、令和3年現在では全国第5位の734万人となる。また、過去10年間の企業転入超過数も全国トップであり、住む場所、働く場所として選ばれる県となっている。

これまでの埼玉県の発展は東京とともにあった。しかし、コロナ禍を受けてテレワークを実施する企業が増え、これまで地方から人を集めてきた東京は、昨年7月以降、

時を除いて転出超過が続いている。都会から離れ



て地方へ移り住むという流れもできつつあり、これまで埼玉県の強みであった部分が変化しつつあると認識している。

そのような中、AIが進化し、更に最近、DX(デジタルトランスフォーメーション)が注目されている。しかし、DXについては具体的なイメージがつかめず分かりにくく、DXの発展はプラス面がある一方で、実は今後の埼玉県の地理的、生産年齢人口などの人口的な優位性を脅かすのではないかと懸念している。例えば、職場に近(裏面へ)

木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 55歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(4期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 環境農林委員
- 特別委員会 公社事業対策特別委員
議会運営委員



営業マンから政治の道へ～木村イサオのイサオログ～

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

●連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail: web-kimura@goo.jp URL: http://www.pwdd.net/i-kimura/

(表面より)

く住みやすいという点から埼玉県を選ぶ人も多いと思うが、テレワークが普及し、住むのはどこでも良いとなれば、わざわざ埼玉県を選ばなくなる可能性もあるのではないかと。

そこで、DXの発展が今後の埼玉県にとって逆にリスク要因とはならないのかと考へ、知事が進めるDXと今後の埼玉県の発展との兼ね合いをどう考へているのか、知事の見解を伺う。



A 大野元裕 知事

DXは、県民の方がオンラインでいつでも手続できるようにしたり、人手不足をAIやロボットでカバーしたりするなど、社会をより良い方向に変えていくための手段であり、本年3月に策定したDX推進計画においても、本県が抱える様々な課題をデジタル技術によって解決し、快適で豊かな、真に暮らしやすい新しい埼玉県への変革を目指すこととしている。

議員御指摘のとおり、デジタル化により都市から地方への人の移動が一部起こるかもしれない。

他方、人と人との触れ合いがなくなるわけではなく、都市部に住む人が必ず地方へ移り住むということにはならないと思う。

また、普及の進むテレワークについても週に3回以内の場合が多く、住居を変えずに在宅勤務を行う、言わばハイブリッドのスタイルが主流となっている。

したがって、むしろ、東京近郊という地理的な優位性と豊かな自然環境を併せ持っている埼玉県に、更にDXによる利便性の向上が加わることで、より魅力を感じる人も増えるのではないかと考へている。

本県としては、DXが埼玉県の魅力を高め、更なる発展につながるよう取り組んでいく。

とされ、埼玉県では約230万人、県民の3分の1が高齢者となる見込み。僅か20年先のこと。

そこで、2点、知事に伺う。

1点目、今後の埼玉県にとって2040年問題を見据えた取組が必要だと考へるが、2040年問題を知事はどのように認識し、対応していくためにはどのような政策展開が必要だと考へるのか伺う。

2点目、2040年問題を知事が進めるDXとどのように結び付けていくという考へるのか、見解を伺う。



A 大野元裕 知事

1点目：少子化による急速な人口減少がみ、高齢者人口が最大となる2040年において、本県は更なる高い峰を迎えることとなる。

まずは、根本的な課題解決に向け、きめ細かな少子化対策を推進していくとともに、女性や高齢者など誰もが意欲と能力に応じて生き生きと活躍できる社会づくりに取り組んでいく。

もちろん、2040年問題は、医療・介護体制の充実、持続可能な社会基盤としてのまちづくりや公共交通網の備など様々な分野にも幅広く影響があり、これらを意識した上で、今後取り組むべき施策について次期5か年計画案に盛り込み、県政全般でしっかりと展開させていく。

2点目：DXは、「2040年問題」をはじめとした様々な社会課題を解決する上で重要なツールである。人手不足の解消や生産性の向上等、行政事務のデジタル化のみならず、医療・福祉・教育などの県民サービスの更なる向上につなげていく必要がある。

具体的には、例えば介護施設へのロボット等の導入を支援し、職員の負担軽減や質の高い介護の実現に取り組んでいく。

また、レセプトデータのビッグデータ分析による受診勧奨や保健指導により、健康寿命の延伸と医療費の増加抑制を図るとともに、オンライン診療を進め、高齢者の通院負担を軽減し、迅速な医療体制を構成していく。さらに、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」として、AIやIoT、5Gなどの活用により、見守りやあるいは災害時の迅速な避難を可能にし、持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

DXの推進により、県民の皆様の暮らしが、より快適で豊かなものとなるようワンチーム埼玉で、「2040年問題」を乗り越えていく。

2040年問題に対応していくためにはDXを活用した政策展開をするべきだ



Q 木村勇夫 議員(民主フォーラム)

次に、2040年問題について伺う。

これまで2025年問題が埼玉県の直面する直近の課題と言われてきた。団塊世代が後期高齢者になる2025年を控え、現行の5か年計画では、活力ある超高齢社会の構築を重点推進課題に掲げるなど対応を行ってきた。

しかし、今後、埼玉県を襲ってくる大きな問題は、2040年問題。2040年には日本の高齢者人口がピークとなり、現役世代1人が高齢者1人を支える肩車型社会に迫る



9月定例県議会閉会。

新型コロナウイルス・物価高騰対策に過去最大の補正予算。

9月定例県議会は、9月22日に招集され、10月14日に閉会しました。今議会では、過去最大となる総額1,765億円の補正予算案や条例改正案など、議案27件を可決しました。補正予算の総額は、約1,765億円。主な内容は、原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者(トラック運送事業者の燃料費補助など)や新型コロナウイルスや物価高などに苦しむ生活困窮者の相談体制の拡充(約89億円)。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援(約15億円)です。

新型コロナウイルス対策(約1,481億円)では、軽症の自宅療養者の健康観察体制を強化します。今後は、継続的に10万人近い自宅療養者を管理できる体制を整えます。

また、福祉施設等の運営継続に対する支援として、光熱費等の激変を緩和し、福祉施設等の運営継続を支援するため、緊急的措置として施設等設置者に対し補助します。(約22億円)

○環境負荷の少ない自動車の普及促進として、40万円を補助上限額としてEV等の導入経費を補助することになり、補助金が国の補助金と県の補助金の2階建

てになりました。(2000台分まで) ○観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援として、本県への宿泊旅行者に対し、1人1泊3,000円(16万人分)の地域観光クーポンを配布。対象者は、県内及び全国からの宿泊旅行者で対象期間は、令和4年11月中旬から令和5年2月28日までです。

条例案では、迷惑行為防止条例を改正して、新たに見張りや押しかけるなどの「つきまとい」の規制場所に店舗やホテル等を追加、またGPS機器等を用いた位置情報を承諾なしに取得する事を規制します。

その他、県内でインターネットカフェの個室で、立てこもり事件が相次いだことから、防犯のまちづくり推進条例を改正して、県が店舗の安全対策を指導できるようにしました。

また、議会最終日には、会派として大野知事に、来年度予算について、158項目の要望書を提出しました。

新型コロナウイルスが未だ終息せず、また物価高騰が生活を直撃しています。県民生活を守るため、議会としても迅速に対応していきます。



木村イサオ
県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 55歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱心営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(4期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 環境農林委員
- 特別委員会 公社事業対策特別委員
議会運営委員 予算特別委員

営業マンから政治の道へ~木村イサオのイサオログ~

ブログ毎日更新中!! 木村イサオ で 検索

● 連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/



九月定例会 木村イサオ 活動報告

子ども等の医療費窓口無料化へ

10月1日から、子ども等の医療費が県内全域で現物給付方式に変わりました。これまでは、居住する市町村以外(例えばさいたま市の人が戸田市の病院で受診した場合)では、窓口では無料化とならず、一旦立替払いをし、その後償還の手続きが必要でしたが、10月1日からは、で窓口での立替払いが不要となり、無料化されました。これまで県議会としても、地域の声を受けて、窓口無料化を求めてきましたが、ようやく実現しました。

在宅医療・介護等従事者の安全確保対策

今年1月にふじみ野市で在宅医療に携わっていた医師が射殺された事件を受け、県では、在宅医療や介護、障害福祉サービスなどの従事者の安全確保対策の取組を始めました。

- 具体的な内容は、
- ・患者や家族などからの暴力やハラスメントに相談を受ける専用窓口を設置
 - ・複数人で訪問する場合の訪問経費の補助(診療報酬等の対象にならないものに対して)
 - ・通話録音装置等の購入費補助
 - ・警備会社導入経費の補助
- などとなっています。

これまで、現場の努力でカバーしていた部分を行政がサポートして、安心して働くことが出来る体制をつくりま

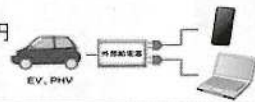
電動車(EV、PHV)への導入に対する補助が決まりました。

原油価格高騰による県民生活負担の軽減を図るとともに、災害時のレジリエンス機能を高めるため、EV等の導入経費を補助し、CO2排出量削減を加速させます。対象者は個人及び事業者で、補助上限額は、40万円、国からの補助金(85万円)と合わせると125万円の補助となります。予定台数は、2,000台です。

概要

自動車分野のCO2排出量の削減を加速させるとともに、災害時のレジリエンス機能を強化するため、EV等の導入経費を補助

- > EV・PHVの導入補助 2,000台
補助上限額:40万円もしくは27.5万円
- > 外部給電器の導入補助 30件
補助上限額:25万円



分身ロボットカフェを視察しました。

会派で、障がい者の社会参加を促進する取組みとして注目を集めている株式会社オリイ研究所(東京)を視察させて頂きました。同社は、「オリイメ」という分身ロボットを開発・提供している会社です。重度心身障がい者であっても、ひきこもりであっても、この分身ロボット「オリイメ」を通し、遠隔地からでもベッドの上からでも、店員として接客をし、働くことが出来ます。

この分身ロボットを通じてのデジタル技術を活用した社会参加は、障がい者の新しい働き方として注目されており、県でも県立特別支援学校で導入され活用されています。また、南区の武蔵浦和ラムザタワーにある「埼玉仕事センター」でも実証実験を始めました。

日本橋にある「分身ロボットカフェ DAWN2021」では、多くの分身ロボットが活躍しており、この分身ロボットでこれからの障がい者雇用が大きく進化する可能性を感じました。今後も注目していきます。



県議会の定数・区割りの協議始まる

来年の統一地方選に向けて、埼玉県議会の定数・選挙区の区割りなどを検討する、埼玉県議会定数・選挙区等検討協議会が立ち上がり、協議が始まりました。

知事へ政策提言

来年度の予算に関する政策提言を大野知事に対して行いました。



ご意見欄 埼玉県や南区の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せください。

FAX : 048-861-1368 E-mail : web-kimura@goo.jp

埼玉県民主フォーラム 県議会議員

木村イサオ

ACTIVITY REPORT

活動報告

南区版

2022年(令和4年) 年始版

県議会レポート

編集・発行 埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部
〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

2022年がスタート。

今年もよろしくお願ひ致します。

明けましておめでとうございませう。
新型コロナウイルスが猛威を振るい、生活や仕事にも大きな影響を及ぼす中でありましたが、今年も県議会議員として、新型コロナウイルス終息に向けて全力で、日々活動してまいります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、12月定例会県議会は、12月2日に招集され、12月22日に閉会し、知事から提案された補正予算案や条例改正案など計44議案を可決認定・同意しました。

以下、12月定例会県議会の主な内容です。
○補正予算の総額は、419億円
この419億円の補正予算は、ポストコロナの新しい生活様式を見据え、キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街に対しての支援や、県内の観光需要を回復させるための「とくとく埼玉！観光応援キャンペーン」の実施期間の延長などの、社会経済活動を活性化させる為の事業者への支援策、介護施設・障害者施設における新型コロナウイルス感染症対策の継続などです。また、PCR検査等の無料化に要する経費などや、生活に困っている人々への支援が計上されています。

○条例案
条例案では、市町村への権限移譲の推進を図るため、知事の権限に属する事務の一部を市町村に移譲する事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案などが議決されました。



○埼玉県5か年計画

5か年計画とは県の最上位の計画です。現行の埼玉県5か年計画の計画期間が令和3年度で終了することから、新たな5か年計画を策定することになり、今後5年間の計画が決まりました。
○財産の取得について(抗インフルエンザウイルス薬)
新型コロナウイルス等対策として治療薬を備蓄するため、抗インフルエンザウイルス薬(ラビアクタ)を取得することを議決しました。

○埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議員提出議案として、現在ある埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部が改正され、飼い主にならうとする者の責務が新設されました。

また令和2年度の埼玉県の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算についても認定しました。

新型コロナウイルス感染症で生活が一変してしまいました。医療にかかるとはすべての方々に感謝申し上げます。新しい生活様式の中で、感染拡大防止と社会経済活動の両立に全力で取り組み、新型コロナウイルス終息に向けて全力で汗をかくて動いてまいります。地域のことや生活のことなどでご相談があれば、遠慮なくなんでもご相談ください。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 54歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(4期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

● 常任委員会 県土都市整備委員
● 特別委員会 少子・高齢福祉社会対策特別委員
議会運営委員

営業マンから政治の道へ～木村イサオのイサオログ～

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

● 連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368
E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/



1月
県議会の新春テレビ番組「ごんいちば。県議会」の新春インタビューに会派を代表して出演。



2月
予算特別委員会では副委員長の
お役をいただきました。



3月
新・立憲民主党埼玉県連の第1回
定期大会。



5月
さいたま市選挙では清水勇人市長の
応援をさせていただきました。



6月
パブリックでも注目されたボッチャ
を体験しました。



7月
コロナ禍で行事が減る中、地元の
辻地区の夏祭りは縮小して行われ
ました。



10月
衆議院総選挙では、高木謙太郎さん
を全力で応援するも、残念な結果に
なっていました。



11月
少しづつコロナ禍もおさまり、
久しぶりに外で野球を楽しみ
ました。



12月
一般質問に登壇、大野知事ら執行部
に知して、9項目の質問をしました。

**県議会
改革。**

埼玉活性化宣言！

令和3年木村イサオの活動報告ダイジェスト。

今年もよろしくお願いします。

これからも「命を守る。」「生活を守る。」政策に取り組みます。

**県議会
改革！**

**埼玉県の
医療・介護**

**地域防災力
の強化**

**中小企業の
活性化・安定
した雇用**

**教育環境
の充実！**

**ワンストップ行政
の充実！**

**県議会
改革。**



9月
各種団体さまから団体ヒアリング。
現場の声を聴かせていただく。



8. 高齢化社会を見据えた今後の県営
住宅について
9. 電車内の安全確保について

- 一般質問の項目です。
1. 1150年を迎えた埼玉県の今後について
 2. 新型コロナウイルス感染症の第6波への対応について
 3. スポーツ・アートにおける障がい者支援について
 4. 東のうとん県を目指したうどん振興について
 5. アルコール依存症対策としてのスクリーニングプログラムについて
 6. 全国都市緑化フェアの本県開催について
 7. 水道事業の広域連携について

南区版

埼玉民主フォーラム 県議会議員 木村イサオ ACTIVITY REPORT 活動報告

2023年がスタート。

今年もよろしくお願ひ致します。

明けましておめでとうございませう。
新型コロナウイルスで生活が一変してから3年になります。生活や仕事にも大きな影響を及ぼす中でありますが、今年も県議会議員として、新型コロナウイルスの終息に向けて全力で、日々活動してまいります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、12月定例会議会は、12月2日に招集され、12月22日に閉会し、知事から提案された補正予算案や条例改正案など計53議案を可決認定・同意しました。
以下、12月定例会議会の主な内容です。

○補正予算の総額は、約244億円

この244億円の補正予算の主な内容は、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者(医療機関や運輸業者等)・県民への緊急支援等です。

また妊娠前から出産・子育ての支援として87億円の予算を可決。必要な支援に繋ぐ為の面談等の、伴走型支援を拡充。合わせて妊娠や出産の届け出をした妊婦等に対して、出産育児関連用品の購入費等への経済的支援(計10万円相当)を一体的に行う市町村に補助します。

その他、静岡県の送迎バス置き去りによる園児の死亡事件を受け、子どもへの安心、安全対策の強化として、幼稚園、小中学校、特別支援学校、障害児通所支援事業所等に補助をして、送迎用バスの安全装置や登園管理システム等を整備する予算も可決しました。

○条例案

条例案では、「県収入証紙」の廃止などのため、「県証紙条例を廃止する条例」が可決されました。これまで免許更新の手数料や、県立学校の受験料の納付などの際に使われてきた「県収入証紙」が2024年3月末で廃止になります。それに伴いキャッシュレス化しますが、キャッシュレス決済(クレジットカードや電子マネー等)に不慣れた高齢者等への対応を求めました。キャッシュレス化は東京都等に続き6番目の都道府県となります。

○合区一条例案

春の県議選に向けた選挙区割りを見直す条例案が可決されました。北1区(秩父市、定数1)と北2区(横瀬町・皆野町・小鹿野町・東秩父村、定数1)を合区し、定数2となりました。これにより選挙区は1減の51となりますが、全体の定数は93でこれまでと変わりません。

新型コロナウイルス感染症が発生して3年が経過しました。医療にかかわるすべての方々に感謝申し上げます。これからも、感染拡大防止と社会経済活動の両立に全力で取り組み、新型コロナウイルスの終息に向けて全力で汗をかいて働いてまいります。地域のことや生活のことなどでご相談があれば、遠慮なく何でもご相談ください。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 55歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(4期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 環境農林委員
- 特別委員会 公共事業対策特別委員
議会運営委員

営業マンから政治の道へ~木村イサオのイサオログ~

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

● 連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail: web-kimura@goo.jp URL: http://www.pwdd.net/i-kimura/





1月 これからは、感染症対策と防災が課題です。会派で県の防災学習センターを視察しました。



3月 ウクライナ難民支援のための募金活動を行いました。今年こそは平和な一年になりますように。



5月 連休中には、毎日のように街頭に立ち、県民のみなさまの声を聞く、プラクティスを実施しました。



6月 被災地を忘れない。福島県浪江町立請戸字学校を視察させて頂きました。



7月 夏の参議院選挙では県議会の仲間、高木まりさんを応援。七夕街宣もやりました。



7月 地元の辻地区の夏まつり。コロナ禍ではありますが、規模を縮小して行われました。辻二丁目では副会長を仰せつかっております。



9月 毎年行っている団体ヒアリング。多くの団体の方々と意見交換することが出来ました。ありがとうございました。



11月 コロナ禍で身体もなまってきたが、久しぶりに野球で汗を流しました。



12月 武蔵浦和のラムザにある「埼玉ごとセンター」に分身ロボットが置かれ、これからの障がい者雇用支援として注目しています。



12月 北浦和の近代美術館で開かれた「障がい者アート展」。本当に素晴らしい作品ばかりでとても多くの人に注目をもらいたいです。



12月 県議会議員在職15年以上の自治功労賞を頂きました。ありがとうございます。これからも汗をかいて働いてまいります。



8月 政治を身近に感じて頂くために「政治を身近に！プロジェクト」やっております。

県議会改革

令和4年木村イサオの活動報告ダイジェスト。

今年もよろしくお願ひ致します。これからも「命を守る。」「生活を守る。」政策に取り組みます。

県議会改革！

埼玉県の医療・介護

地域防災力の強化

中小企業の活性化・安定した雇用

教育環境の充実！

新型コロナ終息

県議会改革

立憲民主党 県議会議員

The Constitutional Democratic Party of Japan

木村イサオ



編集・発行

埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部

〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

埼玉活性化宣言!



県民の為に、働く県議会に。

市役所と違って県議会は身近ではなく、一般の人には馴染みのないところ
です。

しかし、災害対策、警察行政、雇用対策、教育、特に新型コロナウイルス
感染症対応で重要性が再認識された医療問題など、県が関わる分野は生活
にとって重要なものばかりです。

このような重要な分野の審査をし、議決をする機関である県議会をもっと
働く県議会にするために、木村イサオは働きます。

2007年に初めて県議会に送っていただいてから四期16年。政務活動費
などの全面公開は実現したものの、埼玉県議会は全国的に見ても、議会改
革はまだまだ充分とは言えません。また新型コロナの終息に向けて議会の
責任はさらに重くなっています

これから日本一・世界一のスピードで高齢化を迎える埼玉県。将来を見据
えた取り組みが必要です。

私、木村イサオは、

<命を守る(医療・福祉・防災)>

<元気が出る(産業・雇用・教育)>

<安心できる(環境・防犯・マンション問題)>分野を中心に働きます。



県議会
改革!

新型コロナ
終息

埼玉県の
医療・介護

地域防災力
の強化

中小企業の
活性化・安定
した雇用

教育環境
の充実!

木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 55歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(4期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 環境農林委員
- 特別委員会 公社事業対策特別委員
議会運営委員 予算特別委員

営業マンから政治の道へ~木村イサオのイサオログ~

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索



● 連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/



ひつじ年

昭和42年6月に誕生。
ひつじ年生まれで今年で55歳です。



10代

小中学校時代は野球部。高校時代は応援部で鍛えて頂きました。スポーツ好きです。



20代

サラリーマン時代。大型クレーンの熱血営業マンとして埼玉県内を走り廻る。1日200km走ることもしばしば。



議会では「命を守る。」「生活を守る。」「視点から、地域の声を形にする。」「発言してきました。これからその姿勢で取り組みます。」



30代

夏の参議院議員選挙では、県議会の仲間であった高木まりさんを全力で支援。女性の参議院議員が誕生しました。



大野知事とタツツを組んで、新型コロナウイルス対応や物価高対応など、県の諸課題に取り組みます。



埼玉を東のうどん県に。うどん生産量は日本第2位であり、県内にご当地うどんがいくつもある埼玉県。埼玉うどんを観光資源に。うどん議員を目指します。



2025年問題を見据えた対策が必要で。一般質問では、県営住宅の運用を柔軟に対応するよう質問しました。



地域の絆を大切に。地元の辻二丁目では自治会副会長を仰せつかっていきます。地域での防犯パトロール。



初当選以来続けている駅頭活動。初当選から総選挙までの21時間駅頭活動からスタートしました。



これからも地域の声を頂きながら、汗をかいて働いてまいります。

立憲民主党 **県議会改革。**

埼玉活性化宣言！

木村イサオのプロフィール・これまでの取り組み・政策を紹介致します。
これからも「命を守る。」「生活を守る。」「政策に取り組みます。」

県議会改革！

新型コロナ終息

埼玉県の医療・介護

地域防災力の強化

中小企業の活性化・安定した雇用

教育環境の充実！



県議会では、環境農林委員、公社事業対策特別委員、予算特別委員、議会運営委員として仕事をさせていただいています。

県議会改革。



辻こうじ 生き活きレポート

発行 埼玉民主フォーラム越谷第二支部
越谷市千間台西1-9-13ヴェルエールマンションB
電話・FAX 048-940-3024

ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koji.t2454@gmail.com



埼玉県議会 2月定例会(2月17日~3月25日)

過去最大 総額3兆6455億円の県予算成立

辻こうじは予算特別委員として質疑・提案



2月定例会は新年度の予算を決める議会です。
私は県議会議員になって初めて予算特別委員会の委員となり、予算審査に臨みました。
コロナ禍で浮き彫りになった保健所や医療、福祉などの公共サービスの重要性が

浮き彫りになりました。

女性や子ども、障害のある人や高齢者など、より弱い立場の人々にしわ寄せがいく社会を変えていくことが求められます。



予算特別委員会での質疑項目

- 障害者入所施設入所者への地域生活への移行支援を
- 重度障害者グループホームの整備について
- 子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種は義務ではないことの丁寧な周知を
- 子宮頸がんワクチンの勧奨再開にあたり、リスクの告知をしっかりと
- 都市計画道路「浦和野田線」元荒川工区の整備にあたり、公聴会で出た住民意見はどう反映されるのか
- 障害のある生徒の県立高校入試選抜にあたっての配慮措置について
- 少子化にもかかわらず知的障害特別支援学校の児童生徒が増えているのはなぜか
- 特別支援学校の教室不足と、通常の学級での多様な児童生徒の受け入れについて



辻こうじの 県議会ビックリしっ話

ぼなし

第6話 県立の中高一貫校 「凍結」解除へ

県立の中高一貫校
「凍結」から「解禁」へ



2003年に県立伊奈学園が初めての県立中高一貫校となるにあたっては、当時の自民党県議団が「あくまで伊奈学園のみの例外措置でありこれ以上は作らない」ということを条件とする附帯決議を出し、縛りをかけました。これにより埼玉県ではその後、今日に至るまで新規の中高一貫校は設置されませんでした。

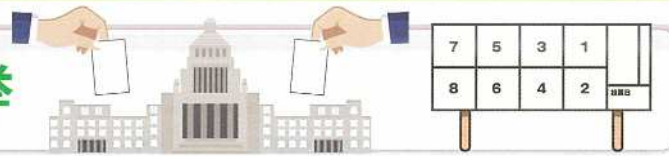
しかし、この2月定例会で自民党県議団からこの附帯決議を事実上解除する内容の提案がありました。そして「LGBTQの生徒に配慮した制服」など公立校ならではの教育内容を求める新たな

決議が自民党から提案され可決されました。県議会で単独過半数を占める自民党県議団は、良くも悪くも行政に対してアクセルやブレーキをかけています。

かつて自民党県議団が中高一貫校にブレーキをかけた理由は定かではありませんが、それが今回「解禁」されたことで、近い将来、新たな中高一貫校設置の計画が県から出てくることになるでしょう。県立学校という公教育における中高一貫教育とはどのようなものが求められるか。改めて議論が必要です。



参議院選挙



7月に任期満了を迎える参議院議員の選挙にあたり、埼玉県市民ネットワークは3人の候補予定者と政策協定を結び、推薦することを決定しました。

ウクライナ侵略を口実とした「核共有」や「憲法9条の改悪」、さらには非常時に国会を召集せずに政府が法律を作れるようにする「緊急事態条項の創設のための改憲」など、政府と政権与党の危険な動きが加速する中で、平和と民主主義を守り、格差貧困をなくし、多様性が認められる国をつくるため、埼玉県市民ネットワークは地域政党の立場から国政に対してもアクションを起こします。

埼玉
選挙区



高木まり
(立憲民主党)

政策協定を結び、
推薦することを決定

比例
代表



福島みずほ
(社会民主党)



辻元清美
(立憲民主党)

ご参加ください 県民と県政をつなぐ 辻こうじの 県政報告会



埼玉県議会議員
辻こうじ

5/28

ゲスト
福田あきら
越谷市長

土 14:00~

40*代のふたりが話す 越谷,埼玉の 「いま」と「これから」

- 日時:5月28日(土) 14時開会
- 場所:越谷市中央市民会館5階第4,5,6会議室
- 主催:埼玉県議会議員 辻浩司
- 共催:辻こうじと一緒に
あたたかい県政をつくる会
埼玉県市民ネットワーク
越谷市民ネットワーク
- 申込:不要
- 問合せ:辻こうじ事務所
- TEL・FAX 048-940-3024(月・水・金)
- メール koji.t2454@gmail.com



〈辻浩司プロフィール〉

- 1975年7月24日春日部市武里団地生まれ
- あゆみ幼稚園・沼端小・谷原中・渋谷幕張高・東京都立大学人文学部卒
- 障害者団体わらじの会関連事業所勤務を経て、2007年越谷市議選当選、以来3期連続当選。2019年県議選初当選。
- 千間台西1丁目在住 ●A型獅子座
- 趣味・登山(大学時代はワンゲル部) ●妻と2人の娘を子育て中
- 地域政党・埼玉県市民ネットワーク/越谷市民ネットワークに所属
- 県議会では9人の議員で会派「埼玉民主フォーラム」を構成
- 総務県民生活委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員





辻こうじ 生き活きレポート

発行 埼玉民主フォーラム越谷第二支部
越谷市千間台西1-9-13ヴェルエールメゾンB
電話・FAX 048-940-3024

ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koji.t2454@gmail.com



6月県議会

性の多様性が尊重される埼玉県を



LGBTQ等少数者を支援する「性の多様性の尊重を推進する条例」が6月議会で可決成立しました。同条例では、性的指向を暴露するアウティングなどの差別行為の禁止や相談体制の整備など性の多様性が尊重される社会づくりを目的とするものです。

異性同士でなくても、互いに愛し合い尊重し合う性の多様性は認められなければなりません。まだまだ根深い偏見があります。LGBTQ等の人はそれ以外の人と比較して「自殺を考えたことがある」などの割合が倍近くいることも県の調査で明らかになっています。

今回の条例に対し、「条例ができると女湯や女子トイレなどの女性スペースを安全に利用できなくなる」などの反対意見が一部ではありましたが、条例はこれらの施設の利用の在り方を変える

ための条例ではなく完全な誤解です。

人口の3%以上いるはずのLGBTQの知人がほとんどいない人も多いと思います。それは出会っていないのではなく気づいていないからかもしれません。誰もが自分の性と体を肯定できる社会を実現したいと思います。



討論の動画はこちらから



辻こうじの 県議会ビックリしっ話

ばなし



第7話 自民党が提案したのに9名の自民議員が退席!?

性の多様性の尊重を推進する条例案は、自民党県議団から提案されたもの。普段、マイノリティの権利や多様性に冷やかな自民党からこういった条例提案があったことは大いに歓迎すべきで評価します。

しかし、条例案の採決では9名もの自民党議員が退席をし、採決を放棄する異例の事態となりました。普段、「会派一致の原則」を厳しく主張する自民党県議団が所属議員のこう

いった行動を「容認」したのは、よほどの事情があったのでしょうか。自民党の支援団体の一つでもある日本会議などの右派系団体はLGBTQの権利擁護には強く反対していますし、昨今、自民党との蜜月関係が問題となっている旧統一教会も同様です。

どのような「事情」があったのかは不明ですが、退席した議員はきちんとその理由を県民に説明してほしいものです。

参院選で推薦の3女性候補が当選



7月の参院選では、埼玉県市民ネットワークが推薦した3人の候補者である、高木まりさん(埼玉選挙区・立憲民主党)、辻元清美さん(比例区・立憲民主党)、福島みずほさん(比例区・社民党)の全員が当選を果たしました。

選挙結果全体を見れば、改憲勢力が、憲法改正発議に必要な3分の2議席を確保し、憲法九条(平和主義)の改悪や緊急事態条項の創設によって政府の暴走を可能にする改憲の危険性が増したことや、右翼的、排外的、復古主義的な主張を掲げる小政党が乱立した現象、さらには過去2回の参院選で培われてきた野党共闘による候補者の一本化が今回はできず、野党がまとまって有権者に選択肢を示すことができなかつたことなど、悲観的な要素も見受けられます。

一方、今回の参院選は女性の候補者の数が過去最高となりました。ジェンダーギャップ指数が世界146カ国中116位という国際的に比較して極めて低水準な要因のひとつにもなっている女性議員数を増やし、多様性が認められる社会を作っていく動きも見られます。

地域政党であるネットは地域から市民の力で国政を変えるために、平和や人権、多様性を守る議員や政党と連携しながら、アクションを起こしていきます。



辻こうじ県政報告会、盛会に終わる 福田市長、大野知事がゲスト参加

5月28日、辻こうじ県政報告会が開催され、定員120名の会場が満席となる大盛況のうちに終わりました。

今回はメイン企画である福田あきら越谷市長と辻こうじの対談では、市長就任1年目の福田市長のフレッシュなお話と辻こうじの掛け合いに、時には笑いも起きるなど盛り上がりました。

また、大野もとひろ知事もオンラインでゲスト出演し、さらに盛り上がりました。



この日誕生日を迎えた
辻こうじと同じ歳の福田市長



オンラインでお話する
大野知事

〈辻浩司プロフィール〉

- 1975年7月24日春日部市武里団地生まれ
- あゆみ幼稚園・沼端小・谷原中・渋谷幕張高・東京都立大学人文学部卒
- 障害者団体わらじの会関連事業所勤務を経て、2007年越谷市議選当選、以来3期連続当選。2019年県議選初当選。
- 千間台西1丁目在住 ●A型獅子座
- 趣味・登山(大学時代はワンゲル部) ●妻と2人の娘を子育て中
- 地域政党・埼玉県市民ネットワーク/越谷市民ネットワークに所属
- 県議会では8人の議員で会派「埼玉民主フォーラム」を構成
- 総務県民生活委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員





辻こうじ 生き活きレポート

発行 埼玉民主フォーラム越谷第二支部
越谷市千間台西1-9-13ヴェルエルメゾンB
電話・FAX 048-940-3024

ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koji.t2454@gmail.com



道路建設はていねいな住民合意を

都市計画道路・浦和野田線「元荒川工区」 新ルートでの計画決定

浦和から越谷を通過して野田橋を結ぶ都市計画道路「浦和野田線」(浦和野田バイパス)が現在整備中です。そのうち、未整備区間である越谷市内の「元荒川工区」建設のための都市計画変更案が7月の県・都市計画審議会(辻も委員の一人)で承認され、11月には用地測量のための説明会が開催されました。道路の完成は10年後とのことです。

変更前の案では北越谷と荻島両地区の境界を流れる元荒川の河川敷を通る内容で、河川敷の桜や貴重な植物が破壊されるなど環境への影響が心配されていました。今回の変更案ではルートが北越谷地区に食い込む形で南にずれるため、河川環境への影響は少なくなるものの、北越谷の住宅地を通過するルートとなるため、通学路の安全や地域の分断などを心配する声も出ています。

辻は審議会で「住民の合意形成がまだ足りていない」と発言し、県は「一層の努力をする」と答弁しました。

道路はただ車両が通行すればいいだけの空間ではなく、その地域のまちづくりとの調和が重要です。辻の提案で「ワークショップ等の手法を取り入れながら住民合意をはかる」と県も答弁しています。

皆様のご意見をお寄せください。



生ごみが消えてなくなるキエーロ

黒土が入っている木箱に生ごみを埋めるだけで数日後には、生ごみが微生物分解で消えてなくなる「生ごみキエーロ」。私は5年前に自作して使用していますが、ニオイもせず虫の発生もなく、おすすめです。ベランダに置くこともでき、集合住宅住まいの方でもOKです。暮らしの中からカーボンニュートラル(脱炭素)を。

再食菜園さんの
Instagram



越谷市でキエーロのある暮らしを発信する、再食菜園さんのInstagram。私のキエーロも紹介されています。



辻こうじの 県議会ビックリしっ話

ばなし

第8話 県議会の選挙区は何のためにある



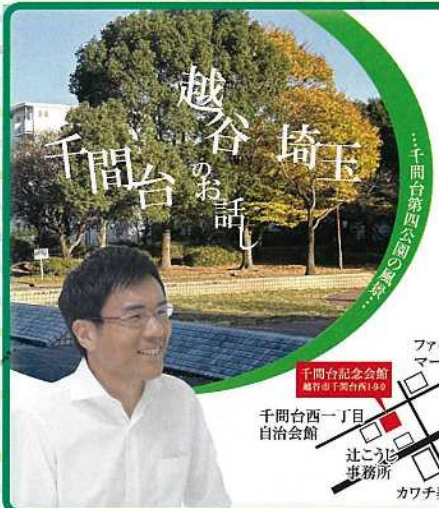
最近、ある時は国政選挙や首長選挙に出たり、ある時は地方議会議員選挙に出たりして、数打つうちに、どこかの選挙で当選することを狙っているような候補者も見受けられます。

地域ごとの選挙区制度があるのは、その地域の意見が幅広く議会に反映されるためであることは言うまでもありませんが、近年は地域コミュニティの弱体化と投票率の低下、政治離れなどによってそれが形骸化し、地域とは無関係な人が、その選挙区の定数や倍率など「当選しやすさ」だけを理由に、立候補するということが増えてきました。



また、他自治体で現職の議員をしながら、別な地域から選挙に出ようとする人もいます。A市の市議がB市の市議選に立候補する、というパターンもありますし、W市の市議がK市の選挙区から県議選に出る、などのパターンもあります。

県議会の選挙区は全部で52あり、そのうち過半数の27選挙区が定数1名の1人区で、狭き門です。そんな中で定数4人の越谷選挙区のような定数の多い選挙区には、議席欲しさに政党の都合で地域に無縁な人を立候補させることも考えられます。しかしそれは地域を軽く見ていることの裏返しだと感じます。



県民と県政をつなぐ辻こうじ県政報告会@千間台西

県議会議員辻こうじが熱く語る

- 新方川の治水の最新の状況は
- 橋の架け替え、河川の拡幅は？
- 千間台西の内水氾濫を止めるには？



ゲスト
福田あきら
越谷市長

2022年12月24日(土) 14:00開会(13:30開場)

場所：千間台記念会館・2階大会議室(越谷市千間台西1-9-9)
エレベーターはありません。介助が必要な方はスタッフがお手伝いします。

主催：埼玉県議会議員 辻こうじ
共催：辻こうじ千間台西応援団
越谷市民ネットワーク 埼玉県市民ネットワーク
お問合せ：電話・FAX 048-940-3024 (辻こうじ事務所)
koshigaya.net@gmail.com

申込み不要
入場無料



乞うご期待!

つながる、共に生きる埼玉・越谷をつくる大集会

2023年2月4日(土) 18:30~

場所：越谷市中央市民会館・劇場
※詳細は決まり次第、お知らせします。



〈辻浩司プロフィール〉

- 1975年7月24日春日部市武里団地生まれ
- あゆみ幼稚園・沼端小・谷原中・渋谷幕張高・東京都立大学人文学部卒
- 障害者団体わらじの会関連事業所勤務を経て、2007年越谷市議選当選、以来3期連続当選。2019年県議選初当選。
- 千間台西1丁目が在住 ● A型獅子座
- 趣味・登山(大学時代はワングル部) ● 妻と2人の娘を子育て中
- 地域政党・埼玉県市民ネットワーク/越谷市民ネットワークに所属
- 県議会では9人の議員で会派「埼玉民主フォーラム」を構成
- 総務県民生活委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員





辻こうじ 生き活きレポート

発行 埼玉民主フォーラム越谷第二支部
越谷市千間台西1-9-13ヴェルエールマンションB
電話・FAX 048-940-3024

ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koji.t2454@gmail.com

Twitter Instagram
Facebook

いろいろな働き方が認められる埼玉県を



障害者、高齢者、子育て中の方など、フルタイム労働は難しくてもいろいろな働き方ができる社会を作りたいと思いませんか。

埼玉県では、県の運営するしごとセンターの受付で重度障害者が働いており、来訪者に検温と消毒を呼びかけたり、行き先窓口を案内したりといった案内業務をしています。

と言っても、本人は家にいます。

その代わりに本人が自宅から遠隔操作するロボットが受付にいて来訪者に対応しています。マイクを通して本人の声も出ますし、ロボットの目の部分はウェブカメラになっており、リアルタイムで受付の様子が見えます。

これは、オリイ研究所が開発した遠隔操作の分身ロボットOriHimeを活用した受付

ソリューションを埼玉県が導入したものです。遠隔でありながら、直接人が接客しているような対応が可能であり、重度障害者など通勤が困難な人などの新しい働き方の形として注目されています。



辻こうじの 県議会ビックリしっ話

第9話 「センセイ」という呼称

「先生」という呼び方



議員同士も
「先生」と呼び合う

議員を雲の上の存在のように印象付

議員は「先生」と呼ばれていると思われがちですが、実は市議会議員時代には「先生」と呼ばれたことはほとんどなく、市職員からも「辻議員さん」(なぜか職名に「さん」付け)などと呼ばれることがほとんどでした。

しかし県議になってからは、県職員などから「先生」と呼ばれるようになり、いまだに慣れません。職員から呼ばれるのもですが、議員同士で「先生」と呼び合うのにも違和感があります。

こういう呼び方が、議員を雲の上の存在のように印象付

け、政治を市民感覚から遠いものにしていていると思いますので、市民の方には「先生と呼ばなくてよいですよ」とお伝えすることもあります。

ちなみに、今時、特に若い議員などはセンセイなどと呼ばれるのを好まない人も多いので、私は「大丈夫そう」な議員には「〇〇さん」と呼ぶことにしています。しかし年配の議員などで「呼んで欲しそう」な感じがする人には用心して「〇〇センセイ」と呼び、その辺りは相手を見てうまくやっています。



＼ご参加ください！
つながる、共に生きる
埼玉・越谷をつくる

大集会

2023年2月4日(土)

18:45スタート

越谷市中央市民会館・劇場

主催:埼玉県議会議員 辻浩司

共催:埼玉県市民ネットワーク、越谷市民ネットワーク
辻こうじと一緒にあたたかい県政をつくる会



ゲスト 寺尾沙穂さん

(シンガーソングライター、エッセイスト)

代表作『さよならの歌』

(大林宣彦監督「転校生 さよならあなた」主題歌)をはじめ、多数の楽曲をリリース。

CM、エッセイの分野でも活躍。著書に「評伝 川島芳子」(文春新書)「原発労働者」(講談社現代文庫)の他、新聞、ウェブ、雑誌などでの連載多数。

東京都立大学の学生時代、石原都知事(当時)が強行した「都立大学改革」に対し、学問と大学自治を守ろうという学生たちの運動に参加したのが辻こうじとの最初の出会い。

私たちも参加します。



大野もとひろ
埼玉県知事



福田あきら
越谷市長



越谷市民ネットワーク市議会議員

山田ゆう子



清水泉



大田ちひろ

県内の市民ネットワークの仲間も参加します

よしかわ市民ネットワーク	岩田京子市議(県政策担当)
はにゆう市民ネットワーク	さいとう万紀子市議
さやま市民ネットワーク	丸橋ユキ
日高市民ネットワーク	成田奈緒子
よしかわ市民ネットワーク	岩崎さゆり



〈辻浩司プロフィール〉

- 1975年7月24日春日部市武里団地生まれ
- あゆみ幼稚園・沼端小・谷原中・渋谷幕張高・東京都立大学人文学部卒
- 障害者団体わらじの会関連事業所勤務を経て、2007年越谷市議選当選、以来3期連続当選。2019年県議選初当選。
- 千間台西1丁目在住 ●A型獅子座
- 趣味・登山(大学時代はワングル部) ●妻と2人の娘を子育て中
- 地域政党・埼玉県市民ネットワーク/越谷市民ネットワークに所属
- 県議会では8人の議員で会派「埼玉民主フォーラム」を構成
- 総務県民生活委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員



県民と県政をつなぐ 辻こうじ県政報告会@千間台西

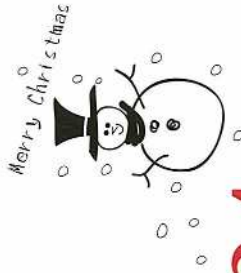
越谷 埼玉 千間台のお話

県議会議員 辻こうじが 熱く語る

新方川の治水の最新の状況は
橋の架け替え、河川の拡幅は
千間台西の内水氾濫を止めるには etc.



ゲスト
福田あきら越谷市長



2022年12月24日(土)
14:00 開会(13:30 開場)
千間台記念会館・2階大会議室

エシペーターはありません。介助が必要な方はスタッフがお手伝いします。
申込み不要 入場無料です。



主催
共催
埼玉県市民ネットワーク
越谷市民ネットワーク
辻こうじ千間台西応援団
埼玉県議会議員 辻浩司
辻浩司 辻浩司

お問い合わせ
TEL/FAX 048-940-3024 (辻こうじ事務所)
koshigaya.net@gmail.com

高木 まり

(2022年春号)

事務所連絡先: 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-18
TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail:takagi@marit.jp

ご意見お待ちしております!

埼玉県議会議員

高木 まり

さいたま市議(2期)を経て、2011年4月より県議(3期目)。総務県民委員会に所属。党派では政調会長。

<http://www.marit.jp>



過去最大規模 令和4年度予算 新型コロナ対策とDX推進を柱に

埼玉県議会2月定例会において、令和4年度予算が可決成立しました。新年度予算の柱は、新型コロナ対策とDX(デジタルトランス変革)の推進です。3月21日にまん延防止対策等重点措置は解除されましたが、今後のウイルスの変異や流行は予想できません。引き続き対応できる予算を確保すると同時に、コロナ

下で露呈した行政のデジタル対応の遅れを取り戻すべく、全庁的な取組を促す予算となっています。DXでは、県内中小企業のデジタル化支援やオンラインを活用した販路開拓支援なども行います。

令和4年度当初予算案

～新たな150年に向けた挑戦～

1 直面する危機からの脱却

2 日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

一般会計 **2兆2,284億5,900万円** 過去最大 前年度比 +5.1%
(全会計合計 **3兆6,455億5,320万1千円**) 前年度比 +4.1%

同時提案 13か月予算による防災・減災、国土強靱化等の推進(令和3年度2月補正)
一般会計 **549億3,564万3千円**

一フナース制度の構築/オンラインによる介護人材確保/不妊症・不育症に悩む方への支援/高齢者の運転免許更新時の認知機能検査へのタブレット端末の導入/知事の期末手当の全額カットの1年延長

☆その他の注目予算☆

感染症専門人材の育成/子育て世帯の医療費負担の軽減/子どもの命を守る通学路の緊急対策/ヤングケアラー支援体制の整備/福祉施設リリ

高木まり、一般質問に登壇

2月定例会において、高木まりは6項目にわたる一般質問を行いました。

質問▶ 新型コロナウイルス感染症の後遺症を抱えて生きる方々への支援について

第1波の重篤なコロナ後遺症で苦しむ北区女性にお会いした。ほぼ寝たきりになる重症度だが、難病指定も障害認定もされず、介助が必要でも支援が受けられない状況だ。県では拠点のコロナ後遺症外来を設置、症例集を作成するなど取り組んでいるが、重篤なケースを把握しているか。国に支援の要請をすべきでは。

答▶ 長期にわたり重い症状が続いている方々を把握している(昨年4か月415症例のうち9例)。国に対して、後遺症発症メカニズムの解明や治療薬の開発、苦しむ方への支援など、国で対応するよう、本県のまとめた症例集の提供をしつつ、強く要望していく。



続きの項目は
裏面へ▶▶▶

コロナ後遺症?と思ったら、医療機関へ ～埼玉、独自に治療体制を構築～

後遺症についても未解明なことの多い新型感染症ですが、埼玉県では症状を身近なところで診てもらえる体制を医師会との協力で構築しました。どこで診てもらえるかは県のHPでご確認下さい。(登録医療機関は今後追加予定。)



詳しくは▶

6月定例会
6/17(木)～
7/25(金)
の予定です。